

平成30年度行政事業レビューシート (警察庁)									
事業名	認知症と安全運転に関する調査研究			担当部局庁	交通局			作成責任者	
事業開始年度	平成30年度	事業終了(予定)年度	平成30年度	担当課室	運転免許課			運転免許課長 早川 智之	
会計区分	一般会計								
根拠法令 (具体的な条項も記載)	道路交通法第90条第1項第1号の2、第103条第1項第1号の2			関係する計画、通知等	-				
主要政策・施策	交通安全対策			主要経費	その他の事項経費				
事業の目的 (目指す姿を簡潔に。3行程度以内)	<p>初期の認知症の者の中に、安全に運転することができる者をそもそも認めることができるかについて調査するとともに、</p> <p>1 初期の認知症である者に対して、安全に運転できることの判断基準の設定</p> <p>2 前記1の者について、認知症が進行して運転に支障を来す状況になった際の判断基準の設定</p> <p>ができることが、現行制度の見直しの検討に必要であることから、これらの設定の可否等について調査研究を実施するなどして、現行制度の見直しが必要かどうかについての判断材料を収集する。</p>								
事業概要 (5行程度以内。別添可)	<p>現行制度の見直しを判断するために必要となる「認知症と安全運転能力」の関係を明らかにするため、次の調査研究を行う。</p> <p>○認知症と診断された者等の認知機能及び安全運転の調査研究</p> <p>認知症と診断された者等について、認知機能(認知機能検査・神経心理検査(MMSE+HDS-R)の点数等)の状況、診断前一定期間の交通違反・交通事故の発生状況を調査するとともに、認知機能検査の結果を活用して認知機能の低下と交通違反・交通事故の発生状況の関係について調査研究する。</p> <p>○認知症と診断された者等の安全運転能力の調査研究</p> <p>認知症と診断された者等について、シミュレーターや実車により、安全に運転できる能力を調査分析するとともに、認知症に特有な運転挙動等について調査研究する。</p>								
実施方法	委託・請負								
予算額・執行額 (単位:百万円)	予算の状況	当初予算	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度要求		
		補正予算	-	-	-	11	-		
		前年度から繰越し	-	-	-				
		翌年度へ繰越し	-	-	-				
		予備費等	-	-	-				
		計	0	0	0	11	0		
	執行額	-	-	-					
	執行率(%)	-	-	-					
当初予算+補正予算に対する執行額の割合(%)	#DIV/0!		#DIV/0!		#DIV/0!				
平成30・31年度 予算内訳 (単位:百万円)	歳出予算目	30年度当初予算	31年度要求	主な増減理由					
	警察装備費	11	-						
	計	11	-						
成果目標及び 成果実績 (アウトカム)	定量的な成果目標	成果指標		単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標最終年度 30 年度
	認知症と安全運転との関係等について報告書を取りまとめる。	認知症と安全運転との関係等についての調査研究報告。	成果実績	式	-	-	-	-	-
			目標値	式	-	-	-	-	1
			達成度	%	-	-	-	-	-
根拠として用いた統計・データ名 (出典)	-								
活動指標及び 活動実績 (アウトプット)	活動指標		単位	27年度	28年度	29年度	30年度 活動見込	31年度 活動見込	
	認知症と安全運転との関係等について調査研究を行い、調査報告書を作成。	活動実績	式	-	-	-	-	-	
		当初見込み	式	-	-	-	1	-	
単位当たり コスト	算出根拠		単位	27年度	28年度	29年度	30年度活動見込		
	事業に要した経費/事業数	単位当たりコスト	百万円	-	-	-	11		
計算式		事業費/事業数		-	-	-	11百万円/1		

政策評価、経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	政策	4 安全かつ快適な交通の確保										
	施策	2 運転者対策の推進										
	測定指標	定量的指標			単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標年度 32 年度		
		70歳以上の高齢運転者による交通死亡事故件数 ※実績値、目標値については、暦年による数値	実績値	件	686	667	629	-	-			
			目標値	件	694	686	686	-	686			
		定量的指標			単位	27年度	28年度	29年度	中間目標 - 年度	目標年度 32 年度		
		70歳以上の免許保有者10万人当たりの交通死亡事故件数 ※実績値、目標値については、暦年による数値	実績値	件	7.2	6.8	6	-	-			
			目標値	件	9.6	7.2	7.2	-	7.2			
	本事業の成果と上位施策・測定指標との関係											
	本調査研究により、「認知症と安全運転能力」の関係を明らかにすることで、上記施策である高齢運転者による交通事故の防止を図る。											
経済・財政再生アクション・プログラムとの関係	改革項目	分野:	-	-								
	(第一階層) KPI	KPI (第一階層)			単位	計画開始時 年度	29年度	30年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度		
		成果実績										
		目標値										
		達成度	%									
	(第二階層) KPI	KPI (第二階層)			単位	計画開始時 年度	29年度	30年度	中間目標 年度	目標最終年度 年度		
		成果実績										
		目標値										
		達成度	%									
	本事業の成果と改革項目・KPIとの関係											
-												
事業所管部局による点検・改善												
国費投入の必要性	項目				評価	評価に関する説明						
	事業の目的は国民や社会のニーズを的確に反映しているか。				○	高齢運転者の交通事故の防止を目的としたものであり、国民や社会のニーズに反映している。						
	地方自治体、民間等に委ねることができない事業なのか。				○	高齢運転者の運転適性を図るものであり、国で予算措置を必要がある。						
	政策目的の達成手段として必要かつ適切な事業か。政策体系の中で優先度の高い事業か。				○	高齢運転者の免許更新に起因する事業のため優先度が高い。						
事業の効率性	競争性が確保されているなど支出先の選定は妥当か。				△	一般競争入札により複数業者による競争を図ったが、入札参加業者が一者であった。						
	一般競争契約、指名競争契約又は随意契約(企画競争)による支出のうち、一者応札又は一者応募となったものはないか。				有							
	競争性のない随意契約となったものはないか。				無							
	受益者との負担関係は妥当であるか。				-							
	単位当たりコスト等の水準は妥当か。				-							
	資金の流れの中間段階での支出は合理的なものとなっているか。				-							
	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。				-							
	不用率が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				-							
繰越額が大きい場合、その理由は妥当か。(理由を右に記載)				-								
その他コスト削減や効率化に向けた工夫は行われているか。				-								

事業の有効性	成果実績は成果目標に見合ったものとなっているか。	-	
	事業実施に当たって他の手段・方法等が考えられる場合、それと比較してより効果的あるいは低コストで実施できているか。	-	
	活動実績は見込みに見合ったものであるか。	-	
	整備された施設や成果物は十分に活用されているか。	-	
関連事業	関連する事業がある場合、他部局・他府省等と適切な役割分担を行っているか。(役割分担の具体的な内容を各事業の右に記載)		-
	所管府省名	事業番号	事業名
点検・改善結果	点検結果	高齢運転者の事故防止に努めることにより、高齢運転者本人に加え、その他の運転者等の安全確保に繋がっていくものである。	
	改善の方向性	本業務は、高齢運転者の事故防止を目的としており、今後も実施する必要がある。	
外部有識者の所見			
点検対象外			
行政事業レビュー推進チームの所見			
通現り状	引き続き、適切かつ効率的な事業実施に努めること。		
所見を踏まえた改善点/概算要求における反映状況			
通現り状	特になし。		
備考			
関連する過去のレビューシートの事業番号			
平成22年度	-	平成23年度	-
平成24年度	-	平成25年度	-
平成26年度	-	平成27年度	-
平成28年度	-	平成29年度	警察庁 (新30 - 0004)
※平成29年度実績を記入。執行実績がない新規事業、新規要求事業については現時点で予定やイメージを記入。			
資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する) (単位: 百万円)	(平成30年度)		
	<div style="text-align: center;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">警察庁 11百万円</div> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">↓</div> <div style="text-align: center;">【一般競争契約(総合評価)】</div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: fit-content; margin: 0 auto;">A :みずほ情報総研(株) 42百万円</div> <div style="text-align: center; margin: 5px 0;">[調査委託]</div> </div> <p style="text-align: right; margin-top: 20px;">高齢運転者の交通事故防止対策に関する調査研究、認知症と安全運転に関する調査研究、高齢運転者講習における新たな視野検査方法導入に向けた調査研究 の3件まとめた契約金額</p>		

	A.みずほ情報総研(株)			B.		
	費目	使 途	金額 (百万円)	費目	使 途	金額 (百万円)
費目・使途 (「資金の流れ」においてブロックごとに最大の金額が支出されている者について記載する。費目と使途の双方で実情が分かるように記載)	警察装備費	認知症と安全運転に関する調査研究	11			
		計		11	計	

支出先上位10者リスト

A.

	支出先	法人番号	業務概要	支出額 (百万円)	契約方式等	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (支出額10億円以上)
1	みずほ情報総研(株)	9010001027685	認知症と安全運転に関する調査研究	11	一般競争契約 (総合評価)	1	-	

国庫債務負担行為等による契約先上位10者リスト

	ブロック名	契約先	法人番号	業務概要	契約額 (百万円)	契約方式	入札者数 (応募者数)	落札率	一者応札・一者応募又は競争性のない随意契約となった理由及び改善策 (契約額10億円以上)
1	-	-	-	-					